

複合サイクル腐食促進試験

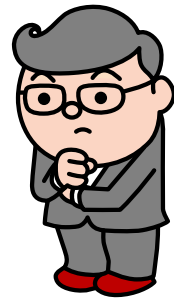
大気環境での金属材料の耐食性を評価したい…

塗料の防食性能を比較したい…

大気暴露試験の実施を考えてみるが、

やはり年単位の長期間を要するので… **断念!**

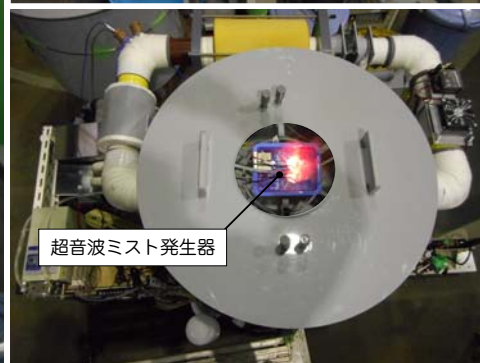
そこで、**ご提案します!**



大気暴露試験を模擬し、それに相当する腐食負荷を短期間で実現する

★ 複合サイクル腐食促進試験 ★

数ヶ月で、年単位の大気暴露試験に相当する結果が得られます。



STEP-1

湿潤（湿った）環境で保持：6時間
温度 50℃・湿度 95%



塩水浸漬

塩水を試験槽内に注入し浸漬
15分間



STEP-2

乾燥（乾いた）環境で保持：17時間45分
温度 60℃・湿度 50%

腐食促進試験 仕様

腐食試験 SAE J 2334 試験*1

試験条件 STEP-1 温度：50℃・湿度：95%

STEP-2 温度：60℃・湿度：50%

浸漬塩水：0.5%NaCl + 0.1%CaCl₂ + 0.075%NaHCO₃

試験条件を任意にカスタマイズ可能です。

ただし、温度≤60℃、湿度≤95%です。

お気軽にご相談ください。

*1：SAE J 2334：自動車用外観腐食試験法規格（米国規格）